

平成30年度 花育推進事業の取り組みについて

1 第2次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

第2次新潟市花育推進計画 数値指標一覧							
指 標 名	単位	策定時 H26	H29	H30	目標時 H34	備考	
花育の普及啓発 (健康で豊かな心を培う)							
1	情報紙の発行部数	部	15,000	16,000	6,000	24,000	食と花の 推進課
2	花育関連講座の受講者数	人	2,740	2,918	2,815	3,300	食育・花育 センター
3	花育の日・花育月間の推進	回	0	各年 2回	各年 2回	各年 2回	食と花の 推進課
家庭、学校、職場等での花育の推進 (健康で豊かな心を培う)							
4	花育マスターの派遣件数	件	105	157	105	170	食と花の 推進課
5	花育団体体験プログラムやアグリ・スタディ・プログラム等の実施団体数	団体	30	78	67	70	食育・花育 センター
6	保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率	%	48	53	54	60	
7	生産現場の花育活動登録数	件	2	2	2	20	
市民活動、地域活動としての花育の推進 (快適でやすらぎのある暮らしを満喫する)							
8	緑化活動推進事業の実施団体数	団体	390	405	358	400	公園水辺 課
「花や緑」あふれる自然や歴史、文化を次世代へ継承する花育の推進 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
9	新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数	人	290	190	241	330	
「花や緑」に親しむ場の整備 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
10	多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み率	%	77.6	85.7	87.6	90.0	農村整備 ・水産課

(各概要については次ページ以降に記載)

(1) 情報誌の発行部数

花育に関する様々な情報を紹介する「花育通信」を発行。花育関係者や公共施設、学校関係等に配布し、花育の普及啓発を行うとともに、ホームページなどの広報媒体を活用し情報を発信した。

発行部数・回数 6,000部/3回

配布場所 庁内関係課、学校及び保育園（小・中学校、幼稚園・保育園等）
区役所、公民館、図書館、花関連施設
花育関係講座受講者に配布 など

(2) 花育関連講座の受講者数

家庭における花育活動の推進のため、各種園芸講座、新潟の特色を活かした寄せ植えに関する講座、ハーブやアロマ等多種多様な講座を計88回開催し、2,815人が受講した。

春の寄せ植え講座	秋の寄せ植え講座	アロマ講座
		

(3) 「花育の日」の普及推進

「花育月間」・「花育の日」の普及推進については、4月・10月ともに、小売店の協力のもと、のぼり旗を掲揚するとともに、春の取り組みでは、食育・花育センター及びNEXT21において、のぼり旗を掲揚し、花の種やちらしを配布した。

秋の取り組みでは、食育・花育センターにおいて、子どもを対象にチューリップの球根植え体験を実施し、「花育の日」の認知度を広げるためのPR活動とともに、「育」の部分を中心とし、子どもたちが実際に土を触り、球根を植えることで植物を育てることの楽しさ、喜びなどを知ってもらう機会とした。

また、「食育の日」と連動して、花に関するクイズ形式の食育ミニ体験を実施することで、食育・花育を一体的に普及啓発することができた。

春、秋とも、小売店36社47店舗において、店独自の特典やサービスと連動した花の種の配布を行った。



(4) 花育マスターによる地域での花育活動の推進

地域での身近な花育活動を更に推進するため、花育マスター制度の周知を進め、地域や学校、福祉施設などに花育マスターを派遣し、地域における花育の推進に取り組んだ。

	派遣回数	対象人数	学校・幼稚園	自治会等	子ども会等	老人施設	その他	登録マスター
H30	105回	3,819人	26件	18件	34件	11件	16件	132人 団体
H29	157回	4,757人	37件	30件	30件	32件	28件	151人 団体



(5) 団体プログラムの実施

いくとぴあ食花3施設が連携した団体プログラムを市内外の小学校や保育園・幼稚園等を対象に実施した。

平成 30 年度実績	実施校園数 67 件 / 対象者 2,567 人
内訳	小学校 32 校 / 幼・保育園 25 園 / 特別支援等 7 校 / その他 3 団体



(6) 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率

コミュニティ協議会や自治会等、地域との連携による花を通じた世代間交流の取り組みについては、全体で54%と昨年度の53%と比べ横ばいだった。

回答率	市立小学校		市立保育園		市立幼稚園		全 体	
86.4%	106 校		86 園		10 園		202 校・園	
花育活動実施	92 校	97%	71 園	86%	8 園	80%	171 校・園	88%
地域連携	68 校	72%	22 園	27%	5 園	50%	95 校・園	54%
H29 地域連携	76 校	71%	27 園	31%	6 園	55%	109 校・園	53%

保育園における地域連携が低い理由については、小学校のように地域コーディネーターや用務員さん等がないため、すべて職員が担当する必要があり、余裕がない。

今後は、コミュニティ協議会等の地域団体と園との協働による花育活動への働きかけが重要。

◎地域連携をしていない理由

学校 / ①時間 ②予算 ③職員負担 保育園 / ①時間 ②職員負担 ③予算

(7) 生産現場の花育活動登録数

花卉生産組合や個人農家で、小学校等の受け入れを行っている事例はあるが、花育マスター登録には及ばず2団体に留まった。

(8) 緑化活動推進事業の実施団体数

公園水辺課所管の、公園等の公共施設で緑化活動を行う団体へ原材料等の補助を行い、緑豊かな街並みづくりを推進する事業。平成30年度は358団体が該当。

(9) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

秋葉区では、生産現場を巡るバスツアーの開催や食育・花育センター及び市内各地で開催したクリスマスローズ展において、生産者による栽培講習会を実施した。

また、四季島乗客へ花のプレゼントをすることにより、花生産のPRを行った。

※バスツアー 41人 栽培講習会 200人



(10) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み

農村整備・水産課所管の、多面的機能支払交付金事業を活用した、地域協働による植栽やビオトープづくりなどの景観形成を通じた農村環境の緑化活動への取り組みを行った。



2 関係団体と連携した取り組み

(1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	内容
1	母の日 「お母さんの好きな花を贈ろう」	5月2日(水)～ 5月6日(日)	・花店のギフト展示 ・資料パネル、花のある暮らしの提案
2	にいがたユリフェア 「大切な人に新潟産のユリを贈ろう」	7月13日(金)～ 16日(月祝)	・ユリを使ったギフトサンプルの展示 ・ユリの産地紹介・品種紹介パネル展示 ・花のある暮らしの提案
3	いい夫婦の日 「愛妻にチューリップを贈ろう」	11月16日(金) ～18日(日)	・メインフラワー展示、花店のギフト展示 ・資料パネル、花のある暮らしの提案
4	愛妻の日 「愛妻にチューリップを贈ろう」	1月25日(金)～ 27日(日)	・メインフラワー展示 ・資料パネル、花のある暮らしの提案
5	フラワーバレンタイン 「男性から女性へ花を贈る2月14日」	2月8日(金)～ 2月14日(木) 2月8日(金)～ 2月11日(月祝)	・フラワーバレンタインとチューリップをPR展示 ・花店のギフト展示など

※会場 食育・花育センター

※平成29年度に実施した「父の日～にいがた産のヒマワリを贈ろう/6月」「敬老の日～大切な人に新潟産の花を贈ろう/9月」「ホワイトデー～ホワイトデーにチューリップを贈ろう/3月」は、平成30年度より廃止。

母の日 「お母さんの好きな花を贈ろう」 5/2～5/6



にいがたユリフェア 「大切な人に新潟産のユリを贈ろう」 7/13～16



(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会と連携した花絵制作

今年で26周年を迎える市民参加型プロジェクト「にいがた花絵プロジェクト」への支援を行い、多くの市民が参加して花絵を制作した。

日 時 平成30年4月29日（日・祝）

会 場 新潟駅南口中央広場



市民公募ボランティア約 150 名が参加
紫雲寺まで花摘みに（午前）



新潟駅南口では更に多くの市民が参加して
花絵を制作（午後）



開港 150 周年にふさわしいデザイン「明るい港町」
笹口小学校 6 年生の作品（現在、東新潟中学校 1 年生）